

予算審査特別委員会における質疑内容

総括質疑

榎本 雄一 区長の新長期計画に対する思いは

これまでの長期計画では、中防の帰属問題、2020オリパラ東京大会の準備等に一定の成果があったが、新しい長期計画策定にあたっての区長の思いを問う。

答弁▶山崎区長

豊洲市場開業時に都と約束した地下鉄8号線の延伸実現が第一であるが、保育所、児童相談所整備等の子育て、高齢者対策、防災対策等の充実に努めたい。

榎本 雄一 令和2年度予算の具体的施策について

防災備蓄用ラジオの全戸配布では、レインボータウンFMとの連携、また2020オリパラ東京大会では交通対策が重要。具体的にどの様な対応を計るのか。

答弁▶総務部長／環境清掃部長

災害発生時に庁舎からラジオを通じて情報発信できる仕組みを目指す。東京大会開催中はごみ収集車の増車やリサイクル品の収集に工夫をこらしたい。

歳入

堀川 幸志 使用料等改定について

施設使用料の20%の改定に至った経緯について、維持管理コストと最大徴収使用料の乖離状況を分析したと、今回なぜそうした考え方に変更したのか。

答弁▶財政課長

文化センターやスポーツセンターなどの施設使用料を定期的に見直しており、令和2年度が見直の対象年度となり、最大徴収使用料を比較見直を決定した。

議会費・総務費

山本香代子 新旧防犯カメラの設置補助とランニングコストの助成について

更新時期を迎える防犯カメラの耐用年数、設置補助について区の考えを問う。防犯カメラの公共性、必要性を鑑みランニングコストの助成に取組むべきでは。

答弁▶危機管理課長

耐用年数を7年と考え、更新も新規設置と同様の補助率で実施する。電気料等の助成については、区民負担の軽減を図れるよう前向きに検討する。

川北 直人 障害者のスポーツや社会参加の機会拡充について

スポーツセンターへの車いす専用トレーニングマシンの整備や文化センターでのボッチャ利用を可能にするなど、障害者の参加機会の拡充を求める。

答弁▶スポーツ振興課長／文化コミュニティ財団管理課長

東京2020大会のレガシーの一つとしても障害者のスポーツの機会拡充や社会参加の促進は重要である。機会を捉えて施設整備や施設利用の弾力化を図る。

金子ひさし 防災対策について

時節柄、多様な方法での迅速な情報発信が必要だが、その点、本区は未だ脆弱で更なるICT化も急務である。区の情報媒体の周知目標の設定も要望する。

答弁▶広報広聴課長

情報発信について検討課題が多々あるのは承知している。区の情報媒体の周知に関しては、利用拡大に向けた工夫が必要であると認識している。

民生費

山本香代子 補聴器支給事業と古石場福祉会館の夜間利用について

補聴器の支給だけでなく自ら購入する補聴器に対して助成金を考えてはどうか。現行夜間帯のカラオケ利用は出来ないで夜間も利用出来るよう柔軟な対応を。

答弁▶介護保険課長／長寿応援課長

補聴器の現金助成については、利用者の意向を把握しながら検討する。近隣の騒音への配慮をしながらであるが、要望に応えるよう検討していきたい。

若林しげる 補聴器支給事業について

65歳以上の方が補聴器の支給を受けても、雑音などを拾いすぎ、利用しづらい難点がある。機種を選定や金額補助の検討、アンケートも大事であるが。

答弁▶介護保険課長

まず、利用者のご意見やアンケートを実施しながら、より良い事業になるよう丁寧に進めて参ります。予算増額と他区の状況を鑑みながら事業の検討をする。

中嶋 雅樹 高齢者の支援について

高齢者の見守り支援事業は町会・自治会や一般企業などの協力で成り立つが、その実績と効果、協力団体間での情報の交換や共有の機会はどうあるのか。

答弁▶長寿応援課長

町会や企業等と協力連携のもと見守り支援対策は一定の効果を発揮。年8回地域ごとに見守り連絡会や実践発表会、セミナー等で情報連携を図っている。

重松 佳幸 親子で感じるパラリンピック事業について

パラリンピック開催を今しかないチャンスと捉え、制度の周知を徹底し、保育園に通う5歳児と保護者が応募しやすい運用をするべきと考える。

答弁▶保育計画課長

園を通じて対象者全てにお知らせし、働く保護者が利用しやすいようにチケットの引き換え等は週末を含む幅を持たせた日程で展開していく。

衛生費・産業経済費

星野 博 容器プラスチック回収事業について

強風時道路に飛び散りまちを汚している。エコ社会を実現する思いが逆に環境にはマイナスになっている。燃えるごみと共に回収し焼却すべきと考えるがどうか。

答弁▶清掃事務所長

ごみが散乱しているのはごく一部であり、散乱防止ネットの活用を案内していく。地球環境全体を考え、容器包装プラスチックの回収は進めていきたい。

星野 博 商店街の活性化について

本区では大型店の出店が止まらない、商店街は益々厳しさを増している。区内共通商品券の使用できる、まちの小売店の範囲を広げ商店街支援を拡大すべき。

答弁▶経済課長

商品券は区民の関心が高く効果が期待出来る。そのため出来る限り幅広く加盟店を募集して利便性を向上できるように、商店街連合会と進めていきたい。

重松 佳幸 江東区観光協会による事業展開について

観光協会の一本化を確実に実行しメリットを活かした事業展開を。また新型コロナウイルスへの対策としてPR等の側面支援の備えをするべきでは。

答弁▶文化観光課長／江東区観光協会事務局長

全区的な観光推進体制をとって展開していく。新型コロナウイルスに対して効果のあるPR方法や、その他施策の前倒し実施等を検討していく。

土木費

釘先 美彦 木と触れ合える常設スペースとCLTの活用について

「木育ひろば」を区関連のイベント等で広めているが、更なる常設スペースの設置は、CLTを活用したコミュニティスペースの設置はできないか問う。

答弁▶温暖化対策課長・河川公園課長

引き続き「木育ひろば」を推進し、児童向け複合施設への常設を検討していく。CLT活用は民間活力が必要、公園や屋内施設での設置を臨海部で検討する。

川北 直人 深川北部地区の緑地整備について

緑被率の低い深川北部地区の緑化推進に向け、小名木川散歩道緑地の再整備や拡幅、河川用地を用いた新規公園整備を促進すべきだが区の見解は。

答弁▶河川公園課長

小名木川耐震護岸完成後の散歩道の緑地整備や、清澄地区など河川区域内の未利用地を活用した公園整備について、地域住民のご意見を踏まえて検討する。

中嶋 雅樹 東砂八丁目地域の交通安全対策について

発展に伴う交通量や環境の変化から危険度の高まる交差点に信号機の設置と五砂小通学路に新設の横断歩道で児童生徒の安全と矛盾のないルール指導を。

答弁▶交通対策課長

信号機の設置基準、1時間あたり300台以上の交通量基準に満たず課題である。横断歩道も設置基準では難しいが、関係機関合同検証で対策検討の俎上に。

にしがき誠 受動喫煙防止対策について

受動喫煙の防止と喫煙者の権利を守る両面より、公園を全面禁煙とし区内に「煙の漏れない喫煙所」の設置を求めてきたが、その検討状況は。

答弁▶河川公園課長

令和2年4月から、まず児童遊園を全面禁煙とする。また煙の漏れないコンテナタイプの喫煙所を令和2年度は区内公園2ヶ所に設置する。

にしがき誠 豊洲西小学校の校庭を補完する新たなグラウンド整備を

昭和大学江東豊洲病院横の都有地を地域開放型のグラウンドに整備をして、豊洲西小学校の児童が普段の授業で利用出来るようにするべきでは。

答弁▶河川公園課長

当該土地は現在オリンピック関連の資材置き場であり、今後本区として有効な活用がなされるよう、東京都に働きかけをしていく。

教育費

若林しげる 幼稚園管理運営事業について

3歳児保育・延長の預かりの実施園を更に増やす検討を速やかに行うべきと考える。また幼児教育の充実のため認定こども園は区立にすべきと提案するが。

答弁▶学務課長

3歳児保育・預かり保育実施園の拡大について、多数のご意見が寄せられるなど保護者のニーズは非常に高いものと受け止め実施状況をたえず検討する。

釘先 美彦 学習発表会の内容と展示会のギャラリートークについて

学習発表会での舞台発表機会を増やすことやギャラリートークの取組みが子供の表現力を高めることが出来るので、多くの小・中学校で進めることを問う。

答弁▶指導室長

学習成果の発表機会や土曜日の展示会参加を子供達と学校の声を聞いて検討する。表現力向上と自己肯定のため必要な取組みなので推進するよう伝える。

国民健康保険会計

金子ひさし 国民健康保険会計における法定外繰り入れの削減対策について

区の収納率向上により、法定外繰り入れが減少したことは評価する。更なる削減のために保険者努力支援制度活用、予防医療への注力を求める。

答弁▶医療保険課長

区は従前の糖尿病化予防事業を更に強化し、保険者努力支援制度における加点をとるよう努める。また収納率向上のための施策にも積極的に取り組む。

TOKYO2020
オリンピック・パラリンピックを
成功させよう!